

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表 目次

1. 生活機能の強化に係る分野

政策（1） 医療

施策① 救急医療体制の推進 1

政策（2） 健康・福祉

施策① 子育て支援事業の充実 2

施策② 高齢・障がい福祉事業の充実 3

施策③ 健康づくり事業の充実 5

政策（3） 教育

施策① 教育環境の整備 6

施策② 文化・スポーツ活動の振興 7

施策③ 生涯学習活動の推進 9

政策（4） 産業振興

施策① 就労支援と雇用の促進 11

施策② 企業立地の促進 12

施策③ 広域観光事業 13

施策④ 地域ブランド創造促進事業 14

施策⑤ 鳥獣被害防止対策 15

政策（5） 環境

施策① 不法投棄防止対策 16

施策② ごみ処理の広域連携の強化 17

施策③ 木津川流域の環境整備 18

政策（6） 防災

施策① 広域連携による防災力強化 19

施策② 相互応援体制の確立 21

2. 結びつきやネットワークの強化に係る分野

政策（1） 公共交通

施策① 地域公共交通対策 23

政策（2） ICT活用

施策① 地域情報の共有化の推進 26

政策（3） 交通インフラの整備

施策① 広域幹線道路等の整備促進 28

政策（4） 地産地消

施策① 地産地消の推進と販路拡大 29

政策（5） 地域内外の住民との交流

施策① 移住・交流施策の推進 30

施策② 空き家の利活用 32

施策③ 公共施設の相互利用 33

施策④ 交流拠点施設の活用などによる地域間交流 . . . 34

3. 圏域マネジメント能力の強化に係る分野

政策（1） 人材育成・交流



施策① 圏域内職員の人材育成 35

政策（2） 外部からの人材確保

施策① 専門的な知識経験を有する人材の確保 36

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	医療福祉政策課 保健福祉課 保健医療課 保健福祉課	①救急医療事業 ・伊賀地域における二次救急医療体制を確保するため、関係医療機関へ支援を行う。 ・圏域全体に拡大した救急・健康相談ダイヤル24事業実施対象エリアを維持するとともに救急医療の適正利用について理解が深まるよう周知を行う。	②応急診療所管理運営事業 ・休日、夜間の応急診療所の安定的な運営を維持するとともに令和5年1月頃に予定している診療所移転について、圏域住民への周知を行う。	・休日、夜間の応急診療所の安定的な運営を維持し、地域医療体制の充実と確保に努める。						
政策No.	(1)	政策名	医療												
施策No.	①	施策名	救急医療体制の推進												
事業No.	1111	事業名	救急医療												
連携市町村															
事業の成果目標	医療に関する相談体制及び休日・夜間の一次救急医療体制を確保することで、軽症患者の診療体制が充実し、圏域住民に安心できる医療体制を提供するとともに、二次救急医療機関の負担軽減を図る。				(実施スケジュール) PLAN 事業概要 PLAN 【連携事業】 ①救急医療事業 ②応急診療所管理運営事業	圏域住民が安心して救急医療を受けられるため、一次・二次救急医療体制を維持するための支援を行うとともに休日・夜間の急病者に対応する診療所を開設し、地域医療体制の充実と確保に努めます。 また、救急医療や応急処置等に関する相談に24時間対応する「伊賀市救急・健康相談ダイヤル24」事業の実施対象地域を維持し、安心できる医療体制を提供するとともに、救急医療の適正な利用を促進します。	①ダイヤル24については、救急医療の適正利用が進むように、啓発方法などを工夫する。 周知を図るため、広報等の方法について検討する。 ②救急医療（一次救急・二次救急）の役割について、地域住民の理解を深めていただけるよう工夫して啓発を行う。 3町村民への啓発にあたっては、近隣の応急診療所の開設していない時間の応急診療に対する啓発に力を入れる。	圏域住民が安心して救急医療を受けられるため、救急医療の適正利用や救急・健康相談体制の周知啓発を行う。							
事業概要															
【参考】第1期課題(改善点)ACTION															
特記事項					実績 (実施内容) DO										
実績															
課題(改善点)ACTION															

母体となる市町村事業

事業名	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市 救急医療事業、応急診療所管理運営事業	151,959	-	-	-	-
笠置町 救急・健康相談ダイヤル24事業	139	-	-	-	-
南山城村 救急医療事業	258	-	-	-	-
山添村 救急・健康相談ダイヤル事業	278	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ている
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	（実施スケジュール）	①子育て相談広場「にんにんパーク」事業 子育て家庭が自然の中でふれあいながら、'走る'投げる'跳ぶ'等からだを使って遊んだり、手作り遊具で遊ぶ広場を提供するとともに保育士による子育て相談により子育て支援を行う。	→								
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉													
施策No.	①	施策名	子育て支援事業の充実													
事業No.	1211	事業名	子育て支援													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	こども未来課 子育て支援室	保健福祉課	保健医療課 税住民福祉	保健福祉課	実績 (実施内容) DO											
事業の成果目標	①戸外で活動することで、自然に親しみながら手作り遊具で遊んだり広場を駆け巡ることによって健全にからだ育てができる。また、子育て中の保護者の交流や保育士による子育て相談により子育てを充実させることができる。 ②病児がいても、家庭保育できない児童を一時的に預かり、仕事と子育てが両立できる。															
事業概要 PLAN	①少子化に歯止めをかけるため、交流広場の提供や子育て支援事業を実施することにより、保護者の子育てへの意欲を高め、交流を通して保護者同士の仲間づくりや親子関係を形成します。 地域の子育て支援センターや子育て包括支援センターでは、子育て情報の収集・提供や子育て事業を実施します。 ②病児保育の実施により、病気のために、保育所（園）、幼稚園、小学校などで集団生活が困難で、保護者の勤務などにより家庭で保育できない児童を一時的に預かります。 【連携事業】 ①地域子育て支援拠点事業 ②病児保育事業															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	①育児を楽しみ、安心して過ごせるようまた、気軽に相談できるような体制づくりに努める。引き続きホームページやチラシ、行政放送等で周知に努めていく。 ②委託事業者にも定住自立圏を理解してもらっており、連携町村からの利用を引き続き呼び掛けていく。 【統合事業】 ファミリー・サポート・センター運営事業 結婚サポート事業 保育サービス等の広域実施 乳幼児指導育成事業															
事業名	伊賀市	①地域子育て支援拠点事業、②病児保育事業														評価 CHECK
	笠置町	子育て世代包括支援センター事業														
	南山城村	母子健康指導事業														
	山添村	子育て（包括）支援センター事業														
事業費（千円）		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	コメント 効果が出ている点 改善すべき点									
	伊賀市	32,068	-	-	-	-										
	笠置町	30	-	-	-	-										
	南山城村	137	-	-	-	-										
	山添村	120	-	-	-	-										
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)					課題 (改善点) ACTION											
A:効果が出ている																
B:効果は出ているが、改善の余地がある																
C:効果が出ていない																
D:事業実施に向け取組んでいる																
E:事業未実施																

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名				医療・福祉部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野				計画 (実施スケジュール) PLAN (実 ス ケ ジ ュ ー ル)	①介護予防普及啓発事業 ・地域で認知症・介護予防サロンを実施するいきいきサロン等に、音楽療法や3B体操の講師を派遣する。								
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉						②認知症サポーター養成講座 ・伊賀市内で開催する、養成講座の受講対象者を圏域に拡大する(年1回開催予定) ・担当課へ案内チラシを送付							
施策No.	②	施策名	高齢・障がい福祉事業の充実							③介護予防リーダー養成講座 ・養成講座(15回コース)の受講対象者を圏域に拡大する(ただし、伊賀市民の応募人数が定員に達しない場合)						
事業No.	1221	事業名	認知症・介護予防								連携市町村において事業の周知、派遣依頼取りまとめ、依頼を行う					
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	介護高齢福祉課	保健福祉課	保健医療課	保健福祉課												
事業の成果目標	・誰もが認知症に対する正しい知識を得ることにより、地域の支援者を増やす。 ・認知症の人も介護する家族も、安心して地域で生活することができる。															
事業概要 PLAN	地域で認知症・介護予防事業を実施するいきいきサロン等に音楽療法や3B体操などの講師を派遣します。認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を見守り支える認知症サポーターを養成する講座を開催します。お住まいの地域で、運動や認知症予防を中心とした介護予防活動を実践していただける介護予防リーダーを養成します。 【連携事業】 ①介護予防普及啓発事業 ②認知症サポーター養成講座 ③介護予防リーダー養成講座															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	②、③について、参加しやすい会場や時間帯を検討し、早めにチラシ等を配布するなど広く周知していく。次年度も継続して周知する。															
実績(実施内容) DO																
事業名	伊賀市	介護予防普及啓発事業・地域介護予防活動支援事業														
	笠置町	一般介護予防事業														
	南山城村	一般介護予防事業														
	山添村	一般介護予防事業														
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価									
	伊賀市	21,943	—	—	—	—	CHECK									
	笠置町	2,802	—	—	—	—	コ メ ン ト 効果が出ている点 改善すべき点									
	南山城村	2,741	—	—	—	—										
	山添村	1,700	—	—	—	—										
								課題(改善点) ACTION								

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等


部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度		
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	（実施PLAN）	①障がい福祉職員研修	（実績DO）	評価	CHECK	効果が出ている点	改善すべき点	課題（改善点）ACTION				
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉				・職員を対象とした研修会（2回）を実施する									②障害者週間啓発事業	
施策No.	②	施策名	高齢・障がい福祉事業の充実				・圏域町村職員の研修会参加者各5名を目標とする										③点字奉仕員等養成事業 ④点字広報・声の広報等発行事業 ⑤要約筆記・聞こえの体験講座
事業No.	1222	事業名	障がい者福祉				・障がいの特性を理解し偏見や差別のない社会の構築を目指し圏域住民への周知啓発を行う										
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村													
担当課	障がい福祉課	保健福祉課	税住民福祉課	保健福祉課	・ニーズにより点字広報・声の広報等の発行												
事業の成果目標	住み慣れた圏域の中で障がいのある人もない人もだれもが心地よく安心して暮らせるまちをつくるをめざし、各事業や啓発活動等の取組を積極的に行う。					・研修への参加機会を増やし、職員の資質向上を図る。 ・広く圏域住民への啓発周知や各事業を通じ、障がいのある人の地域生活への支援を行う。											
事業概要PLAN	すべての住民が障がいの特性を理解し、偏見や差別のない社会を構築することで、障がいのある人が、住み慣れた地域で多くの人々と協力しあいながら、「自分らしい暮らし」を送れるよう、障がい福祉研修事業（職員向け）、障害者週間街頭啓発事業、点字奉仕員等養成事業、点字広報・声の広報等発行事業、要約筆記講座等を実施します。 【連携事業】 ①障がい福祉職員研修（職員向け） ②障害者週間啓発事業 ③点字奉仕員等養成事業 ④点字広報・声の広報等発行事業 ⑤要約筆記・聞こえの体験講座（市民・職員向け）																
【参考】第1期課題（改善点）ACTION	研修会参加について、連携町村に対してはより早い時期から周知する等、少しでも参加しやすい条件を整え効果的な啓発を行う。コロナ禍において、今後どのように研修を開催できるか検討する必要がある。																
事業名	伊賀市	障害者福祉一般経費、地域生活支援事業給付費					事業費（千円）	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度					
	笠置町	地域生活支援事業															
	南山城村	地域生活支援事業															
	山添村	地域生活支援事業															
伊賀市	750	—	—	—	—												
笠置町	364	—	—	—	—												
南山城村	483	—	—	—	—												
山添村	14	—	—	—	—												

★事業の成果目標に対する効果（5段階評価）

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					医療・福祉部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		①健康教室への参加や健康情報の共有 ・対象事業の開催時には圏域全体に広く参加を呼び掛ける。 ・それぞれの圏域に合った健康づくり事業が実施できるよう健康情報の共有について検討する。	①健康教室への参加や健康情報の共有 ・対象事業の開催時には圏域全体に広く参加を呼び掛ける。 ・それぞれの圏域に合った健康づくり事業が実施できるよう健康情報の共有する。									
政策No.	(2)	政策名	健康・福祉												
施策No.	③	施策名	健康づくり事業の充実												
事業No.	1231	事業名	健康づくり												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村							○	○	○	○	
担当課	健康推進課	保健福祉課	保健医療課	保健福祉課	(実施スケジュール) 計画	健康づくりについて学ぶ機会を提供することで圏域住民の健康意識の向上、行動変容につながることを目指す。									
事業の成果目標	圏域住民の健康に対する意識の向上に向けて健康情報の提供や知識の普及を図る。														
事業概要 PLAN	圏域住民の健康に対する意識向上、健康増進を図ることを目的として、健康づくり講座を開催します。こころの健康について理解を深め、自分自身及び家族等のこころの健康問題に取り組みます。また、こころの健康問題を抱えた人々を身近で見守りや相談が出来る環境や地域づくりを目指し、こころの健康講座を開催します。 ご当地体操である忍にん体操の普及啓発を図り、健康づくりに役立ててもらうために忍にん体操普及会が各地において講習会を開催します。 圏域に在住する健康づくりに関する知識や資格を持っている方をまちの講師として登録し、講座メニューの充実を図り、圏域住民が活用できる住民ニーズに対応した出前講座を実施します。 また、健康講座や健康測定などそれぞれの地域に合った健康づくり事業が実施できるよう健康情報の提供などを実施します。														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・コロナ禍において感染予防対策を完全予約制参加人数制限を設けての実施となり広く参加を呼び掛けることが難しい。 ・圏域住民への健康情報の提供について内容・方法を検討する必要がある。														
実績(実施内容) DO					評価 CHECK	効果が出ている点 コ メ ン ト 改善すべき点									
課題(改善点) ACTION															

母体となる市町村事業

事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村		
健康づくり推進事業						
健康教育事業						
疾病予防事業						
健康教室、健康ウォーキング事業						
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伊賀市	700	-	-	-	-
	笠置町	570	-	-	-	-
	南山城村	426	-	-	-	-
	山添村	466	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名	教育部会			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野	
政策No.	(3)	政策名	教育	
施策No.	①	施策名	教育環境の整備	
事業No.	1311	事業名	教育環境	
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村
	○	○	○	○
担当課	教育総務課 学校教育課	相楽郡東部 広域連合学	相楽郡東部 広域連合学	教育委員会 事務局
事業の成果目標	圏域内でのさらなる高校進学エリアの拡大を検討することで、将来的な就職に繋げ、人口減少を防ぎ、若年層の定住促進を目指す。			
事業概要 PLAN	連携町村の中学校生徒に、進学可能な三重県立高校の案内パンフレットを配布し、学校の紹介を行います。また、圏域内小中学校において、タブレットなどのICTを活用し、児童生徒の交流を行います。 【連携事業】 ①連携町村への周知及び活動内容の検討			
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	事業内容の再検討が必要です。			

年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
計画	①連携町村への周知及び活動内容の検討 ・進学可能な三重県立高校の紹介 ・圏域内小中学校において、タブレットなどのICTを活用し、児童生徒の交流を図る。				
	(実施スケジュール)				
特記事項					
実績 (実施内容) DO					
評価 CHECK					
コメント	効果が出ている点				
	改善すべき点				
課題 (改善点) ACTION					

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市					
	笠置町					
	南山城村					
	山添村					
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	伊賀市	0	-	-	-	-
	笠置町	0	-	-	-	-
	南山城村	0	-	-	-	-
	山添村	0	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度								
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		① 展覧会、文化祭、イベント等の情報共有・情報発信用のポスター、パンフレットの相互掲示 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有 連携市町村間で事業開催情報の共有・発信 ④ 交流事業の実施 共通する文化芸術を知り、交流人口（地域住民・世代間交流）の機会を創出 ⑤ 講師情報の相互共有 講師の情報を共有する	・交流の手法について検討 既存イベントへの住民の相互参加	・交流の手法について検討 既存イベントへの住民の相互参加	・交流事業の実施 既存イベントへの住民の相互参加	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）								
政策No.	(3)	政策名	教育																				
施策No.	②	施策名	文化・スポーツ活動の振興																				
事業No.	1321	事業名	文化・芸術振興																				
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村																			
担当課	文化振興課	相楽郡東部広域連合生	相楽郡東部広域連合生	教育委員会事務局																			
事業の成果目標	文化芸術の情報共有を行うことで、文化芸術に関心のある圏域内の交流人口の増加を図る。																						
事業概要 PLAN	圏域内で行われる文化芸術イベントなどの開催情報の共有・発信をすることで、施設の相互利用を促進します。また、圏域内での文化活動への積極的な参加による人的交流と絆づくりを行います。そのほか、芸術家や文化団体などが、ふだん文化芸術に触れる機会が少ない人の元に出向きコンサートやワークショップを行うアウトリーチ事業により、圏域内の小中学生等が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術の受け手を増やします。 また、圏域内の文化財についても貴重な地域資源として保存・活用を図るため情報の一元化や発信等に努めます。 【連携事業】 ① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）																						
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	まずは市展等の既存のイベントへ住民が相互に鑑賞できるようにするなど、交流する方法について、担当課間で協議を行う。																						
事業名	伊賀市	文化芸術推進費			実績 (実施内容) DO	【横断的視点】 連携市町村内で開催される文化芸術活動への参加を活発にするため、相互に情報共有を行う。 連携市町村間における交流の機会を増やし、研修会などによって交流を活発にする。 文化財についての圏域内の貴重な地域資源として保存・活用を図り、郷土に対する理解と関心を深め、今後の魅力あるまちづくりに役立つよう長く後世に継承し地域の活性化を図る。 【DX・SDGSの視点】 SNSなどを活用し広く情報を周知するとともに、文化芸術に触れる機会づくりにDXを活用していく。	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）	① 市展、文化祭等の情報共有 ② 圏域内の団体、個人の交流 ③ 実施事業の相互共有（文化財） ④ 交流事業の実施（文化財） ⑤ 講師情報の相互共有（文化財）										
事業費(千円)	伊賀市	13,431	—	—										—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	笠置町	574	—	—										—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	南山城村	1,439	—	—										—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	山添村	720	—	—										—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
評価	CHECK				コメント 改善すべき点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点	効果が出ている点								
課題(改善点) ACTION																							
課題(改善点) ACTION																							

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている
 B:効果は出ているが、改善の余地がある
 C:効果が出ている
 D:事業実施に向け取り組んでいる
 E:事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育委員会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	（実施 P S L A J I N Y U I R L ）	①スポーツイベント・スポーツ教室等の開催情報の共有 ・イベント情報の提供									
政策No.	(3)	政策名	教育				②スポーツ指導者の育成 ・研修、情報交換会などによる情報の共有									
施策No.	②	施策名	文化・スポーツ活動の振興				③スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議									
事業No.	1322	事業名	スポーツ振興				【横断的視点】 スポーツイベント参加による連携市町村での交流を活発にするため、相互に情報共有を行う。 【DX・SDGSの視点】 SNSなどを活用し簡易に広く情報を伝えるとともに、SDGSの認知度向上とスポーツの価値の向上に取り組む									
連携市町村	伊賀市 ○	笠置町 ○	南山城村 ○	山添村 ○												
担当課	スポーツ振興課	相楽郡東部広域連合生	相楽郡東部広域連合生	教育委員会事務局	特記事項											
事業の成果目標	相互のイベントの情報共有及び交流をすることで、研修やスポーツ行事の機会が増え、圏域内の交流人口の増加を図る。															
事業概要 PLAN	圏域内で行われるスポーツイベントやスポーツ少年団行事などの開催情報を共有することで、相互に気軽な参加ができる環境づくりを行います。また、住民のスポーツへの関心や参加機会を増やすため、スポーツ推進委員など指導者の育成についても情報共有を行います。 【連携事業】 ①スポーツイベント・スポーツ教室等の開催情報の共有 ②スポーツ指導者の育成 ③スポーツ施設の相互利用（2531再掲）															
【参考】第1期課題 (改善点) ACTION	・連携市町村のスポーツ団体のニーズや活動状況などについて把握し実施方法などを再検討する。 ・スポーツ施設の相互利用に向け条件等をどのように整理するか検討を要する。また料金設定を行うのであれば、市内料金とするのか、新たに設定するか（構成市町村に無い施設のみとするか）等の線引きが必要。															
母体となる市町村事業					実績 (実施内容) DO											
事業名	伊賀市	スポーツ活動振興事業			評価											
	笠置町	保健体育総務諸経費、スポーツ推進委員会事業			CHECK											
	南山城村	保健体育総務諸経費、スポーツ推進委員会事業			コメント											
	山添村	スポーツ活動振興事業				効果が出ている点										
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	R8年度									
	伊賀市	22,171	—	—		—	—									
	笠置町	1,224	—	—	—	—										
	南山城村	3,260	—	—	—	—										
	山添村	4,500	—	—	—	—										
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)					改善すべき点											
A: 効果が出ている B: 効果は出ているが、改善の余地がある C: 効果が出ていない D: 事業実施に向け取組んでいる E: 事業未実施					課題 (改善点) ACTION											

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育委員会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		連携 市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	①交流事業の実施 共通の歴史文化を知る きっかけづくりとなる事業 を行う。	②実施事業の相互共有 連携市町村間で事業にか かるチラシ・ポスター等を 随時提供し、圏域内住民へ の周知に努める。	③講師情報の相互共有 連携市町村で提供可能な 講師の情報を収集し、情報 提供を行う。	→	→	→
政策No.	(3)	政策名	教育												
施策No.	③	施策名	生涯学習活動の推進												
事業No.	1331	事業名	生涯学習												
担当課	生涯学習課	相楽郡東部 広域連合生	相楽郡東部 広域連合生	教育委員会 事務局											
事業の 成果目標	圏域住民の多様な生涯学習活動を充実させるととも に、圏域住民が共通した伝統文化を学習する機会を得 て交流を図る。				計 画	（実 施 ス ケ ジ ユ ー ル）	→	→	→	→	→	→	→	→	
事業概要 PLAN	多様な生涯学習事業のPRや事業連携を行い、子ども も大人も交流し学び合える機会を提供し合うことで、 圏域住民の生涯学習活動の幅を広げ、住民が生涯にわ たって学習できる環境を充実させます。 【連携事業】 ①交流事業の実施 ②実施事業の相互共有 ③講師情報の相互共有														
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	・コロナ禍においては、リモートでの参加など、実施 方法を検討する必要がある。														
特記事項	新型コロナウイルス感染症のことをふまえ、また、継続的な事業実施のためにも実現可能性を考慮する。														
実績 (実施内容) DO															
事業名	伊賀市	生涯学習推進啓発事業			評 価 C H E C K	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
	笠置町	文化財保護事業費、笠置町公民館運営諸経費													
	南山城村	文化財保護事業費、文化事業													
	山添村	公民館活動事業													
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度											R7年度
	伊賀市	29,281	—	—	—	—									
	笠置町	772	—	—	—	—									
	南山城村	1,095	—	—	—	—									
	山添村	2,553	—	—	—	—									
コメント	★事業の成果目標に対する効果(5段階評価) A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ている D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施					コ メ ン ト	→	→	→	→	→	→	→		
課題 (改善点) ACTION															

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					教育部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。 (実施) P S L K E A J I N Y U R L (計画) ②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。	①図書館(室)の利用促進 ・笠置町、南山城村、山添村住民の上野図書館図書利用カード登録者数を増やすため、笠置町、南山城村、山添村図書室利用者及び住民に上野図書館の利用を案内する。 ・上野図書館が実施する各種事業を毎月圏域内住民に周知する。	②関係団体への団体貸出による相互支援 ・圏域内の関係団体等への団体貸出について情報提供する。
政策No.	(3)	政策名	教育													
施策No.	③	施策名	生涯学習活動の推進													
事業No.	1332	事業名	図書館運営													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	上野図書館	相楽郡東部広域連合生	相楽郡東部広域連合生	教育委員会事務局												
事業の成果目標	圏域内の図書館(室)を利用できる体制を整えることにより、読書活動の増進に寄与することができる。				実績 (実施内容) DO	評価 CHECK	効果が出ている点 コメント 改善すべき点	課題 (改善点) ACTION	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。	
事業概要 PLAN	圏域内に設置する図書館(室)を利用できるよう、継続的に広く周知することにより、広域での読書活動の推進に努め利用促進を図ります。また、ボランティアグループ団体への活動支援として、読み聞かせ等に利用する紙芝居や絵本の団体貸出による相互支援を行います。 【連携事業】 ①図書館(室)の利用促進 ②関係団体等への団体貸出による相互支援															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	①図書館カードの登録促進について、継続してHPや広報等で相互に住民周知を行い、さらに登録促進に繋がる周知方法を検討する。															
事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度												R8年度
伊賀市	9,141	-	-	-	-											
笠置町	245	-	-	-	-											
南山城村	578	-	-	-	-											
山添村	10	-	-	-	-											

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	
	図書館管理経費	図書室運営事業費	図書室運営事業費	図書室運営事業費	
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市	9,141	-	-	-	-
笠置町	245	-	-	-	-
南山城村	578	-	-	-	-
山添村	10	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A: 効果が出ている
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある
 C: 効果が出ていない
 D: 事業実施に向け取り組んでいる
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	(実施 P S L A J I N Y U R L)	①合同セミナー等の圏域内での周知 地元企業就職への取組を推進するため、伊賀管内において開催している伊賀地域合同就職セミナー（U・J・Iターン）の圏域内への周知を図る。	→								
政策No.	(4)	政策名	産業振興													
施策No.	①	施策名	就労支援と雇用の促進													
事業No.	1411	事業名	雇用、勤労者対策													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	商工労働課	商工観光課	産業観光課	地域振興課												
事業の成果目標	圏域内企業への就職者の増加を目指す。				事業概要 PLAN											
事業概要 PLAN	合同就職セミナーの共同開催等により、圏域内の企業への就職を促進し、地域経済の後継者を育成します。 【連携事業】 ①合同セミナー等の圏域内での周知															
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	ウィズコロナを見据えて、より効果的なセミナーの手法や広報活動内容の見直しをアンケート結果等を分析し検討する必要がある。				特記事項	・事業No.1421企業立地促進事業と連動して進めていく					実績 (実施内容) DO					
母体となる市町村事業					評価 CHECK											
事業名	伊賀市	雇用、勤労者対策事業									コメント	効果が出ている点				
	笠置町	-														
	南山城村	-			改善すべき点											
	山添村	雇用促進事業														
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	課題 (改善点) ACTION									
伊賀市	41,618	-	-	-	-											
笠置町	0	-	-	-	-											
南山城村	0	-	-	-	-											
山添村	900	-	-	-	-											

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ているが、改善の余地がある
- D: 効果が出ているが、改善の余地がある
- E: 効果が出ているが、改善の余地がある

第2期伊賀・山城南・東和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度																														
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		① 企業立地促進事業 ・圏域内の雇用促進等に繋げるため、工場を新設・増設する者に対し必要な措置を講ずる。 ・産業用地、求人情報、企業間連携のために情報共有を行う。	(実施スケジュール) 計画	伊賀市 ○	笠置町 ○	南山城村 ○	山添村 ○	商工労働課 商工観光課 産業観光課 地域振興課	圏域内での労働人口を維持し、企業及び地域経済を発展させる。	奨励金等の優遇措置をもって、企業誘致を推進します。また、未操業企業の早期操業に向けた支援をするとともに、民間遊休地等への企業誘致を推進します。また、産業用地、求人情報、企業間連携のための情報共有等・蓄積を図ります。 【連携事業】 ① 企業立地促進事業	伊賀市 53,058	笠置町 0	南山城村 0	山添村 3,404	評価 CHECK	効果が出ている点 コメント	改善すべき点	課題 (改善点) ACTION																								
政策No.	(4)	政策名	産業振興																																										
施策No.	②	施策名	企業立地の促進																																										
事業No.	1421	事業名	企業立地促進																																										
事業概要 PLAN	新たな産業用地等の創出と並行して、アンケート調査を継続的に実施し、企業の進出意向を把握する。 ・物件の積極的な情報提供により誘致の促進を図る。																																												
事業の成果目標	・新たな産業用地等の創出と並行して、アンケート調査を継続的に実施し、企業の進出意向を把握する。 ・物件の積極的な情報提供により誘致の促進を図る。																																												
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・新たな産業用地等の創出と並行して、アンケート調査を継続的に実施し、企業の進出意向を把握する。 ・物件の積極的な情報提供により誘致の促進を図る。																																												
特記事項																																													
実績(実施内容) DO																																													
事業費(千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊賀市</td> <td>53,058</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>笠置町</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>南山城村</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>山添村</td> <td>3,404</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>																R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	伊賀市	53,058	—	—	—	—	笠置町	0	—	—	—	—	南山城村	0	—	—	—	—	山添村	3,404	—	—	—	—
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度																																								
伊賀市	53,058	—	—	—	—																																								
笠置町	0	—	—	—	—																																								
南山城村	0	—	—	—	—																																								
山添村	3,404	—	—	—	—																																								

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている
 B:効果は出ているが、改善の余地がある
 C:効果が出ていない
 D:事業実施に向け取組んでいる
 E:事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		連携 市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	①観光振興事業 ・旬の観光情報や体験・交流メニューを掲載したパンフレット等を集客施設等に配置し、相互に情報発信を行う。また、それぞれが実施する観光PRイベント等で来場者に配布する。	（実施スケジュール）	計画	特記事項	実績 (実施内容) DO	評価 CHECK	効果が出ている点 コメント	改善すべき点	課題 (改善点) ACTION
政策No.	(4)	政策名	産業振興															
施策No.	③	施策名	広域観光事業															
事業No.	1431	事業名	広域観光															
事業の成果目標	・積極的に観光情報を発信することで各地域への誘客を促進するとともに周遊につながる旅行商品の造成につなげていく。 ・着地型観光を推進することで、地域での滞在・周遊につなげる。																	
事業概要 PLAN	圏域に有する自然や歴史文化、伝統産業等の多様な地域資源を発掘・活用し、体験・学習型の観光プログラムの創出・提供に取り組みます。また、情報発信や観光人材の育成について連携して取り組み、圏域内での観光客の流れを作り、圏域内の顧客の共有を図ることにより、周遊性向上と滞在時間や観光消費額の増加を図っていきます。 【連携事業】 ①観光振興事業																	
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	・パンフレットの配置以外の情報発信の取組が必要。 ・圏域での滞在・周遊につながる着地型観光を推進するとともに連携した取り組みを行うため、事務レベルでの検討会が必要。																	
母体となる市町村事業																		
事業名	伊賀市	観光振興管理経費・観光地域づくり支援事業																
	笠置町	観光戦略経費・観光推進事業経費																
	南山城村	観光推進事業・地域IoT実装推進事業・広域観光宣伝推進事業																
	山添村	観光振興事業・観光推進事業																
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度												
	伊賀市	26,609	-	-	-	-												
	笠置町	4,660	-	-	-	-												
	南山城村	20,924	-	-	-	-												
	山添村	17,786	-	-	-	-												

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A: 効果が出ている
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある
 C: 効果が出ていない
 D: 事業実施に向け取り組んでいる
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		①地場産業振興事業 ・圏域内の集客力の高いイベント等においてそれぞれの地域ブランドの情報発信や伝統的工芸品などを体験する機会を作りその魅力を伝える。 ・事業連携のための体制づくりや予算措置について検討を進める。	(実施スケジュール) 計画	伊賀市 ○ 笠置町 ○ 南山城村 ○ 山添村 ○	担当課 商工労働課 商工観光課 産業観光課 農林建設課	事業の成果目標 集客性の高いイベント等で伝統的工芸品や特産品の情報発信、体験機会の創出を行い、購買意欲や来訪意欲を高めることにより地場産業の振興を図る。	事業概要 PLAN 集客力の高いイベント等への物産展売店や伝統的工芸品などの体験イベントを行うことで、伝統的工芸品や特産品の情報発信、後継者育成支援を行います。 【連携事業】 ①地場産業振興事業	【参考】 第1期課題 (改善点) ACTION 連携事業の実行体制の構築に向けた検討を進める。	実績 (実施内容) DO	評価 CHECK	コ メ ン ト 効果が出ている点 改善すべき点	課題 (改善点) ACTION
政策No.	(4)	政策名	産業振興												
施策No.	④	施策名	地域ブランド創造促進事業												
事業No.	1441	事業名	地場産業振興												
連携市町村															
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度									
伊賀市	5,758	—	—	—	—	—									
笠置町	0	—	—	—	—	—									
南山城村	0	—	—	—	—	—									
山添村	1,845	—	—	—	—	—									



★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている
 B:効果は出ているが、改善の余地がある
 C:効果が出ていない
 D:事業実施に向け取組んでいる
 E:事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		伊賀市 笠置町 南山城村 山添村	○ ○ ○ ○	農林振興課 建設産業課 産業観光課 農林建設課	情報共有を行うことにより、同じ方向性を見出し、各自治体の取組に反映させる。	各自治体における取り組みについての情報交換等を行いながら、有害鳥獣による農作物等への被害防止及び駆除を行います。	【連携事業】 ① 研修等情報交換会	① 研修等情報交換会 ・圏域内での情報共有により鳥獣被害の実態を把握し、有害鳥獣による農作物への被害防止及び駆除に取り組む				
政策No.	(4)	政策名	産業振興												
施策No.	⑤	施策名	鳥獣被害防止対策												
事業No.	1451	事業名	鳥獣害防止												
連携市町村															
担当課															
事業の成果目標					(実施スケジュール) PLAN										
事業概要															
【参考】第1期課題(改善点)ACTION	新型コロナウイルスは令和4年度になって徐々に鎮静化の傾向にあるが、新種による感染拡大が起こる可能性があり、県境を越える移動が出来ない状態でも担当者同士は情報交換できるよう、リモート会議形式での開催が出来るよう改善したい。				実績(実施内容) DO										
事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価 CHECK								
	伊賀市	45,649	—	—	—	—									
	笠置町	808	—	—	—	—	コメント 効果が出ている点 改善すべき点								
	南山城村	22,313	—	—	—	—									
	山添村	7,570	—	—	—	—	課題(改善点) ACTION								

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている
 B:効果は出ているが、改善の余地がある
 C:効果が出ていない
 D:事業実施に向け取組んでいる
 E:事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名	環境部会			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野	
政策No.	(5)	政策名	環境	
施策No.	①	施策名	不法投棄防止対策	
事業No.	1511	事業名	不法投棄防止	
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村
	○	○	○	○
担当課	さくらリサイクルセン	税住民課	建設環境課	環境衛生課
事業の成果目標	不法投棄を早期に発見回収することで、不法投棄を抑制する。			
事業概要 PLAN	市町村間・地域間で情報交換・協力しながら、環境パトロールによる不法投棄の抑制及び回収を行います。また、啓発により抑制効果の上昇に努めます。 【連携事業】 ①啓発物品の作成・配布 ②不法投棄防止監視パトロール			
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・圏域内でのパトロール協力の検討。			

年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
計画	(実施スケジュール)	①啓発物品の作成・配布 ・各市町村の住民団体によるクリーンウォークなど環境美化活動による不法投棄防止の支援 ・広報紙等で不法投棄を防止するための啓発を行う。				
		②不法投棄防止監視パトロール ・不法投棄を早期に発見するため監視パトロールを各市町村で実施し、必要に応じて情報交換を行い情報共有する				
特記事項						
実績 (実施内容) DO						
評価 CHECK						
コメント	効果が出ている点					
	改善すべき点					
課題 (改善点) ACTION						

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市	不法投棄防止事業				
	笠置町	不法投棄防止事業				
	南山城村	不法投棄廃棄物処分事業				
	山添村	不法投棄防止事業				
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	伊賀市	4,587	—	—	—	—
	笠置町	256	—	—	—	—
	南山城村	603	—	—	—	—
	山添村	270	—	—	—	—

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					環境部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		①小型家電リサイクル ・資源化を促進するため、各市町村における家電の分別収集を推進 ②ごみ分別ガイドブックや分別方法掲載した収集カレンダー作成 ・分別収集を徹底するため、分別ガイドブックの作成や収集カレンダーへの分別方法を記載するなどごみ分別を適正化を進める ③各ごみ処理施設の処理状況の把握及び情報共有 ・連携市町村のごみの資源化事業による現状把握及び連携事業に係る協議	(実施スケジュール) PLAN 計画										
政策No.	(5)	政策名	環境													
施策No.	②	施策名	ごみ処理の広域連携の強化													
事業No.	1521	事業名	ごみの資源化													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	廃棄物対策課	税住民課	建設環境課	環境衛生課												
事業の成果目標	適正なごみ分別により、圏域内の資源化率の向上に努める。															
事業概要 PLAN	圏域全体において、ごみの分別を適正に行うことによって、資源化が可能なものを極力資源化するとともに、不適切なものの再分別等にかかる費用・労力を減らします。 【連携事業】 ①小型家電リサイクル ②ごみ分別ガイドブックや分別方法掲載した収集カレンダー作成 ③各ごみ処理施設の処理状況の把握及び情報共有															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	定住自立圏の圏域と処理広域化の圏域が異なることから、今後の広域化の枠組みをどのようにするか検討から始める必要がある。 定住自立圏を構成する自治体間であっても一廃は自区内処理が原則であり、定住自立圏と言えどもそれぞれの自治体において自区内処理に向けた取り組みが求められる。 山添村は大和まほろば定住自立圏でも「一般廃棄物の効率的な広域処理の推進」を進めており、調整を要する。 また、新型コロナの影響下において、広域で連携してどのような取り組みができるのか検討する必要がある。															
母体となる市町村事業	伊賀市	一般廃棄物減量等推進事業														
	笠置町	一般廃棄物減量化促進事業														
	南山城村	リサイクル収集運搬事業														
	山添村	リサイクル回収事業														
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価									
	伊賀市	9,984	—	—	—	—	CHECK									
	笠置町	200	—	—	—	—	コメント									
	南山城村	95	—	—	—	—		効果が出ている点								
	山添村	1,232	—	—	—	—		改善すべき点								
								課題(改善点) ACTION								

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A: 効果が出ている
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある
 C: 効果が出ていない
 D: 事業実施に向け取り組んでいる
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					環境部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		連携 市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	○	○	○	○	○	○	
政策No.	(5)	政策名	環境													
施策No.	③	施策名	木津川流域の環境整備													
事業No.	1531	事業名	環境美化													
担当課	環境センター	税住民課	建設環境課	環境衛生課												
事業の 成果目標	河川美化活動を通して、河川環境保全に対する意識の高揚を図る。				計 画	（実 施 ス ケ ジ ユ ー ル）	①啓発物品の配布 ・共同して啓発物品を作成し、配布する。									
事業概要 PLAN	木津川及びその支流における河川美化活動及び啓発事業を毎年継続的に実施するとともに、その活動内容、成果等を発信し、活動の輪を広げます。						②河川美化活動及び環境ポスター等の募集 ・河川環境保全に対する意識の高揚を図るため、美化活動を行う ・ポスターの募集									
	【連携事業】 ①啓発物品の配布 ②河川美化活動の実施						・連携市町村間の情報交換を活発に行い、河川環境美化を進める									
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため伊賀市で計画していた大規模な河川美化活動が中止となった。美化活動手法の多様化の更なる検討を行う。				実績 (実施内容) DO											
母体となる市町村事業					評価 CHECK											
事業名	伊賀市	環境保全対策事業				効果が出ている点										
	笠置町	木津川河川美化活動事業				改善すべき点										
	南山城村	公衆衛生対策事業				課題 (改善点) ACTION										
	山添村	環境美化事業														
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
	伊賀市	204	—	—	—	—										
	笠置町	33	—	—	—	—										
	南山城村	62	—	—	—	—										
	山添村	54	—	—	—	—										

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					防災部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		①計画的な災害用備蓄品等の購入 ・災害用長期保存食や生活用品等を購入する	(実施スケジュール) 計画	伊賀市 ○	笠置町 ○	南山城村 ○	山添村 ○	防災危機対策局 総務財政課	総務課	総務課	総務課	総務課	総務課
政策No.	(6)	政策名	防災													
施策No.	①	施策名	広域連携による防災力強化													
事業No.	1611	事業名	防災資機材整備													
連携市町村																
担当課																
事業の成果目標	計画的に災害用備蓄品等を備え、相互支援体制を構築し、災害時には、圏域住民へ災害用長期保存食や生活用品等の備蓄資機材の相互支援を行う。					(実施スケジュール) 計画	伊賀市 ○	笠置町 ○	南山城村 ○	山添村 ○	防災危機対策局 総務財政課	総務課	総務課	総務課	総務課	
事業概要 PLAN	避難者への救援物資を迅速に配布できるよう備えます。また、災害時には、災害用長期保存食や生活用品等の備蓄資機材の相互支援を行います。 【連携事業】 ①計画的な災害用備蓄品等の購入															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	防災訓練等を通じて、救援物資等の応援体制や実行性のある相互支援の体制づくりに繋げる必要がある。															
母体となる市町村事業						実績(実施内容) DO	伊賀市 3,248	笠置町 0	南山城村 500	山添村 759	伊賀市 3,248	笠置町 0	南山城村 500	山添村 759	伊賀市 3,248	
事業名	伊賀市	防災資機材整備推進事業														
	笠置町	防災資機材整備推進事業														
	南山城村	災害対策事業														
	山添村	防災資機材整備推進事業														
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	伊賀市	
評価	CHECK						コメント 効果が出ている点 改善すべき点	伊賀市 3,248	笠置町 0	南山城村 500	山添村 759	伊賀市 3,248	笠置町 0	南山城村 500	山添村 759	
課題(改善点) ACTION																

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ている
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

部会名	インフラ部会			
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野	
政策No.	(6)	政策名	防災	
施策No.	①	施策名	広域連携による防災力強化	
事業No.	1612	事業名	河川整備	
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村
	○	○	○	○
担当課	建設管理課	建設産業課	建設水道課	農林建設課
事業の成果目標				
事業概要 PLAN	木津川の河川改修など治水対策や砂防事業の要望を行い、地域の安全の向上を図ります。			
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	圏域として、要望活動等も重要であるため、必要に応じて会議等を開催し、情報交換や連携を進めます。			

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市					
	笠置町					
	南山城村					
	山添村					
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	伊賀市	284	—	—	—	—
	笠置町	84	—	—	—	—
	南山城村	154	—	—	—	—
	山添村	51	—	—	—	—

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
計画 (実施スケジュール)	当事業は、必要に応じ取り組みを実施する。				
	・当事業については、必要に応じ取り組みを実施する。				
特記事項					
実績(実施内容) DO					
評価 CHECK					
コメント	効果が出ている点				
	改善すべき点				
課題(改善点) ACTION					

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					防災部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度		
分野No.	1	分野名	生活機能の強化に係る分野		計画	①消防団活動の相互情報共有 ・消防団各種訓練を連携市町村と相互に情報共有を図る。	（実施 P S L ケ A ジ N ユ ー ル）	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
政策No.	(6)	政策名	防災														
施策No.	②	施策名	相互応援体制の確立														
事業No.	1622	事業名	消防団														
連携市町村	伊賀市 ○	笠置町 ○	南山城村 ○	山添村 ○													
担当課	地域防災課	総務財政課	総務課	総務課													
事業の成果目標	合同訓練や研修会の実施により、災害時応援体制の確立と地域防災力を向上させる。				事業概要 PLAN	第3次伊賀市消防団活性化計画に基づき、各種災害に対して被害を軽減するため相互の連携や協力により、災害時への対応を迅速に行えるよう、災害対応訓練、研修、情報の共有等を行い、それぞれのレベルアップ、災害時対応の充実につなげる。 【連携事業】 ①消防団活動の相互情報共有	結んだ令和3年度末の課題 協定を、より実効性のあるものにするため、引き続き、研修会や合同訓練等を定期的で開催する。 コロナ禍において、実施が可能な訓練方法を協議する必要がある。	実績 (実施内容) DO	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度				
事業概要 ACTION	結んだ協定を、より実効性のあるものにするため、消防団各種訓練を連携市町村と相互に情報共有を図る。																
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION					事業費 (千円)	評価 CHECK	効果が出ている点	コメント 改善すべき点	課題 (改善点) ACTION	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
母体となる市町村事業																	
事業名	伊賀市	消防団関係事業			事業費 (千円)	評価 CHECK	効果が出ている点	コメント 改善すべき点	課題 (改善点) ACTION	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度			
	笠置町	非常備消防体制の充実と強化															
	南山城村	非常備消防体制の充実と強化															
	山添村	消防団関係事業															
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度											
	伊賀市	195,433	-	-	-	-											
	笠置町	9,349	-	-	-	-											
	南山城村	17,290	-	-	-	-											
	山添村	31,600	-	-	-	-											

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている
B:効果は出ているが、改善の余地がある
C:効果が出ているが、改善の余地がある
D:効果が出ているが、改善の余地がある
E:事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					交通部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		①リニア中央新幹線に係る 情報共有及び要望活動 ・リニア中央新幹線に係る概略ルートや停車駅等について情報共有し、関係機関等に要望活動を行う	(実施スケジュール) P L A N ユ ー ー ル	計画								
政策No.	(1)	政策名	公共交通												
施策No.	①	施策名	地域公共交通対策												
事業No.	2111	事業名	鉄道網整備促進												
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
担当課	交通政策課	商工観光課	総務課	総務課											
事業の成果目標	新たな交通手段の確保、地域の活性化が期待できるリニア中央新幹線について、圏域内で理解を深める。				大阪延伸が見込まれるリニア中央新幹線に係る情報を共有し、開業を見据えた地域全体の方向性を探ります。 【連携事業】 ①リニア中央新幹線に係る情報共有及び要望活動	・笠置町、南山城村はリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会への参画がないため、伊賀市を通じて情報提供や連携が必要									
事業概要 PLAN	大阪延伸が見込まれるリニア中央新幹線に係る情報を共有し、開業を見据えた地域全体の方向性を探ります。 【連携事業】 ①リニア中央新幹線に係る情報共有及び要望活動														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	整備計画どおり、奈良市附近を経由地とするルートとなれば、圏域に影響が及ぶため、国の動向を見定め、適切な時期に伊賀市を通じた情報共有や連携を図りながら、要望を行う必要がある。				実績(実施内容) DO										

母体となる市町村事業

事業名	事業費(千円)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市	13,942	-	-	-	-
笠置町	0	-	-	-	-
南山城村	0	-	-	-	-
山添村	0	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					交通部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		①整備促進団体の運営を通じた利用促進、整備促進のための各種施策実施 ・定住自立共生圏内での連携した利用促進施策の検討。 ・JRへの要望活動・意見交換会の実施 ・沿線ウォークイベント等を開催する ②駅舎等の再生利活用 地域との連携による駅舎利活用の検討 月ヶ瀬口駅の再生利活用に係る検討 ③	(実施スケジュール) PLAN ACTION	計画	政策No.	(1)	政策名	公共交通					
施策No.	①	施策名	地域公共交通対策													
事業No.	2112	事業名	関西本線電化促進													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	交通政策課	商工観光課	総務課	総務課												
事業の成果目標	新たな交流の創出や圏域外からの交流人口の増加を図る。				実績 (実施内容) DO											
事業概要 PLAN	関西本線のICカード利用可能エリアが拡大されたことを機に、さらなる利用促進に努めるとともに、駅舎の再生利活用や列車の魅力づくり、着地型観光の振興などについて鉄道事業者と連携して取り組みます。 【連携事業】 ①整備促進団体の運営を通じた利用促進、整備促進のための各種施策実施 ②駅舎等の再生利活用															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	共通の目標に向け、それぞれの取り組みを進めている。 JR西日本と共に利用促進に向けた広域的な施策を構築する必要がある。府県での取組について情報共有を行う必要がある。															
特記事項																
事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価 CHECK コメン ト 効果が出ている点 改善すべき点										
伊賀市	751	-	-	-	-											
笠置町	39	-	-	-	-											
南山城村	4,964	-	-	-	-											
山添村	0	-	-	-	-											
課題(改善点) ACTION					課題 (改善点) ACTION											

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
伊賀市	751	-	-	-	-
笠置町	39	-	-	-	-
南山城村	4,964	-	-	-	-
山添村	0	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ている
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					交通部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		① 圏域内住民への情報提供 ・圏域内の移動やネットワーク構築に資する情報提供のあり方について検討を行う	(実施スケジュール) 計画	伊賀市 ○	笠置町 ○	南山城村 ○	山添村 ○	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
政策No.	(1)	政策名	公共交通												
施策No.	①	施策名	地域公共交通対策												
事業No.	2113	事業名	公共交通ネットワークの構築												
連携市町村															
担当課	交通政策課	商工観光課	総務課	総務課											
事業の成果目標	幅広い年齢層の移動手段を容易にする。				実績 (実施内容) DO	評価 CHECK	コ メ ン ト	効果が出ている点 改善すべき点	課題 (改善点) ACTION	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
事業概要 PLAN	JR関西本線、伊賀鉄道、各路線バス及びコミュニティバス等を活用した、通勤、通学（特に府県をまたぐ高校通学の可能性）、買い物、通院に適したネットワークの構築を目指します。 【連携事業】 ① 圏域内住民への情報提供														
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	今後、広域的な経路検索の充実が必要である。また、圏域内での移動交通が不足しており、さらに強化し地域に根差した交通体系の構築が必要と考える。														
事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村											
事業内容	バス等対策事業経費、交通計画推進事業 笠置町 バス運行事業（広域バス運行事業含む） 南山城村 バス管理事業、地域でつくり・支える公共交通システム整備事業 山添村 公共交通対策事業														
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度									
	伊賀市	215,118	—	—	—	—									
	笠置町	5,142	—	—	—	—									
	南山城村	7,918	—	—	—	—									
	山添村	25,757	—	—	—	—									

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A: 効果が出ている
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある
 C: 効果が出ていない
 D: 事業実施に向け取り組んでいる
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					広報・人材育成部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		① 広報作成等連携事業 ・広報紙に情報交流のコーナーを設け、連携市町村の記事を年間12回掲載する (広報いが、広報やまぞえは年間12回、広報れんけいは年間4回掲載し、掲載がない月はチラシを配布する) ・公式ホームページに連携市町村の広報紙へのリンクを貼る	(実施スケジュール) 計画	①各部会から広報紙への掲載依頼を受け、定住自立圏コーナーまたは個別の記事として広報紙に掲載する	実績 (実施内容) DO	評価 CHECK	効果が出ている点 コメント 改善すべき点	課題 (改善点) ACTION					
政策No.	(2)	政策名	ICTの活用													
施策No.	①	施策名	地域情報の共有化の推進													
事業No.	2211	事業名	広報誌連携													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	広聴広報課	総務財政課	総務財政課	総務課												
事業の成果目標	連携市町村の取組みやイベントなどに興味・関心を持ち、それぞれの住民による相互交流が促進される。				連携市町村の情報交流を行います。 【連携事業】 ① 広報作成等連携事業											
事業概要 PLAN																
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	・圏域住民が一体感を感じるように、イベント情報や事業紹介だけでなく、企画モノの掲載を検討する。そのためには、これまで以上に広報担当者同士の情報共有やコミュニケーションを密にしていく必要がある。															

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市		笠置町		南山城村		山添村	
	事業	経費	事業	経費	事業	経費	事業	経費
	広報作成等業務経費		広報作成等業務経費		広報発行事業		広報紙発行事業	
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度			
	伊賀市	14,532	—	—	—			
	笠置町	485	—	—	—			
	南山城村	686	—	—	—			
	山添村	3,055	—	—	—			

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					広報・人材育成部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度																		
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		計画	(実施スケジュール)	①公式SNS連携事業	→																									
政策No.	(2)	政策名	ICTの活用				・「ウィークリー伊賀市」で、定住自立圏を紹介する番組を制作し、伊賀市公式YouTube「忍者市チャンネル」で公開する																										
施策No.	①	施策名	地域情報の共有化の推進				・公式ホームページで連携市町村のイベント等の情報を掲載(リンク)する																										
事業No.	2212	事業名	SNS等連携				・SNSを利用した情報発信に向けて検討する																										
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村			①各部会から「ウィークリー伊賀市」への放送依頼を受け、番組を制作し、伊賀市公式YouTube「忍者市チャンネル」で公開する																										
担当課	広聴広報課	総務財政課	総務財政課	総務課																													
事業の成果目標	連携市町村の取組みやイベントなどに興味・関心を持ち、それぞれの住民による相互交流が促進される。																																
事業概要 PLAN	SNSやホームページ、ケーブルテレビを活用し、活字だけでなく動画も含め、圏域の情報を発信します。 【連携事業】 ①公式SNS連携事業																																
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	【継続】連携市町村から希望があれば掲載(シェア・リンク)する方法では、効果が出ないため、定期的にイベント等の情報を共有する方法を検討する必要がある。																																
事業名	伊賀市	行政情報番組等管理経費				実績(実施内容) DO																											
	笠置町	-																															
	南山城村	-																															
	山添村	-																															
事業費(千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度												R8年度	評価 CHECK															
	伊賀市	49,936	-	-	-	-	コメント	効果が出ている点																									
	笠置町	2,800	-	-	-	-											改善すべき点																
	南山城村	0	-	-	-	-																				課題(改善点) ACTION							
	山添村	0	-	-	-	-																											

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A:効果が出ている
 B:効果は出ているが、改善の余地がある
 C:効果が出ていない
 D:事業実施に向け取組んでいる
 E:事業未実施

部会名					インフラ部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		（実施スケジュール） 計画											
政策No.	(3)	政策名	交通インフラの整備													
施策No.	①	施策名	広域幹線道路等の整備促進													
事業No.	2311	事業名	道路整備													
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村												
担当課	建設管理課	建設産業課	建設水道課	農林建設課												
事業の成果目標						当事業は、必要に応じ取り組みを実施する。										
事業概要 PLAN	国道163号並びに名阪国道及び国道25号など、圏域市町村が連携して国や府県へ要望等を行います。															
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	圏域としての要望活動等も重要であるため、広域的な道路行政の取組みとして、必要に応じ会議等を開催し、情報交換や連携の強化を進めます。															
特記事項	・当事業については、必要に応じ取り組みを実施する。					実績(実施内容) DO										
事業名	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	評価 CHECK											
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度												R8年度
伊賀市	150	-	-	-												-
笠置町	30	-	-	-												-
南山城村	50	-	-	-												-
山添村	30	-	-	-	-											
コメント	効果が出ている点					改善すべき点										
課題(改善点) ACTION						課題(改善点) ACTION										

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

A: 効果が出ている
 B: 効果は出ているが、改善の余地がある
 C: 効果が出ていない
 D: 事業実施に向け取組んでいる
 E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名					産業振興部会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度															
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村	計画	①観光PR ・圏域内の道の駅等において相互にパンフレットを置きPRを行う。	→																		
政策No.	(4)	政策名	地産地消																											
施策No.	①	施策名	地産地消の推進と販路拡大																											
事業No.	2411	事業名	交流促進施設維持管理(道の駅活用事業)																											
担当課	商工労働課	商工観光課	産業観光課	農林建設課																										
事業の成果目標	地域内外の消費を拡大し、地域産業の振興を図る。				（実施スケジュール）	②特産品PR ・道の駅等が相互に情報共有し、情報発信などで協力し合えるよう働きかける。	→																							
事業概要 PLAN	道の駅等の利用者に対し、お互いの特産品の販売・PR、観光等の地域情報の提供や、圏域外への共同出展などにより、地域産業の振興を図ります。 【連携事業】 ①観光PR ②特産品PR																													
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	パンフレットの入れ替えの頻度をあげる。																													
特記事項																														
実績(実施内容) DO																														
事業名	伊賀市	交流促進施設維持管理事業			事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価	CHECK																		
	笠置町	—																												
	南山城村	道の駅管理事業																												
	山添村	直売書(花香房)維持管理事業																												
	伊賀市	12,389	—	—													—	—	—	—	—	—	コメント	効果が出ている点						
	笠置町	0	—	—	—	—	—	—	—	—	改善すべき点																			
	南山城村	17,368	—	—	—	—	—	—	—	—						課題(改善点) ACTION														
	山添村	1,076	—	—	—	—	—	—	—	—																				
	伊賀市	12,389	—	—	—	—	—	—	—	—																				

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

交流会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
部会名	交流会				計画	(実施スケジュール)	①情報発信事業 ・道の駅などへ、移住ガイドブックやチラシを配置するため設置箇所を調整 ・圏域全体の情報について周知できるラック等の設置の検討	・移住ガイドブックやチラシの配置	・移住ガイドブックやチラシの配置	・移住ガイドブックやチラシの配置	→
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野								
政策No.	(5)	政策名	地域内外の住民との交流								
施策No.	①	施策名	移住・交流施策の推進								
事業No.	2511	事業名	移住・交流								
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村							
	○	○	○	○							
担当課	地域創生課	商工観光課	産業観光課	地域振興課							
事業の成果目標	笠置町・南山城村・山添村・伊賀市を訪れた人、また各自治体のホームページを閲覧した人が圏域内の移住情報を得ることができる。各自治体単独で情報発信するよりも移住先の条件など選択肢が広がり、圏域内に関心を持つ人の増加が期待できる。										
事業概要 PLAN	道の駅などに連携市町村の移住ガイドブックやチラシを配置するとともに、移住情報サイトに連携市町村のバナーを設けるなど、相互に連携し移住希望者へのPR・情報発信を行います。 圏域全体で移住者情報を集約し、移住交流通信等により圏域内外へ発信するとともに、移住者交流会を開催するなど、移住者と地域住民の圏域間での交流を深めます。 【連携事業】 ①情報発信事業 ②移住者交流会等の開催 ③地域おこし協力隊交流会の開催										
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	各自治体のホームページでのバナーの見せ方、その内容について継続して検討していく。										
特記事項	・発信する情報は毎年度点検し改訂する。 ・①情報発信事業におけるラック設置については、移住情報だけではなく圏域情報全体を集約できるものを検討する。										
実績(実施内容) DO											
評価 CHECK											
コメント	効果が出ている点 改善すべき点										
課題(改善点) ACTION											

母体となる市町村事業

事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村		
伊賀市	移住・交流推進事業					
笠置町	ホームページ関連事業					
南山城村	移住定住推進事業					
山添村	移住・交流推進事業					
事業費(千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伊賀市	39,976	-	-	-	-
	笠置町	568	-	-	-	-
	南山城村	2,874	-	-	-	-
	山添村	10,873	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名				交流部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野				計画	(実施スケジュール)	①ふるさと納税 ・連携市町村間での連携に向けた共同研究 ・ホームページ等での相互連携による情報発信 ・SNSの相互連携等、ふるさと納税を通じた関係人口創出に向けた企画検討					
政策No.	(5)	政策名	地域内外の住民との交流											
施策No.	①	施策名	移住・交流施策の推進											
事業No.	2512	事業名	関係人口創出											
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村										
担当課	地域創生課	商工観光課	企画政策課	地域振興課										
事業の成果目標	ふるさと納税を通じて圏域の魅力を相互に発信することにより、ふるさと納税寄附件数の増加させるとともに、新たな圏域ファン（関係人口）を創出する。						特記事項	関係人口創出に向け、伊賀市が取り組んでいるSNSを活用したファンクラブサイトを活用し、圏域全体のふるさと納税返礼品情報や、行政情報発信サイトにすることにより、情報の相互連携することからそれぞれの市町の関係人口へのプロモーションサイトとして運営を企画検討する。						
事業概要 PLAN	ふるさと納税などの取組を通じ、圏域の魅力を相互に発信し、新たな圏域ファン（関係人口）を創出します。 【連携事業】 ①ふるさと納税													
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	新規事業						実績 (実施内容) DO							

母体となる市町村事業

事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村		
シティブロモーション推進事業						
ふるさと納税事業						
ふるさと納税推進事業						
ふるさと応援寄附金事業						
事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伊賀市	1,217,515	-	-	-	-
	笠置町	1,201	-	-	-	-
	南山城村	9,920	-	-	-	-
	山添村	17,610	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

交流会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度																								
部会名	交流会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度																								
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野																															
政策No.	(5)	政策名	地域内外の住民との交流																															
施策No.	②	施策名	空き家の利活用																															
事業No.	2521	事業名	空き家等対策																															
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村																														
担当課	住宅課	商工観光課	産業観光課	地域振興課																														
事業の成果目標	笠置町・南山城村・山添村・伊賀市の空き家バンクホームページを閲覧した人が圏域の空き家情報を得ることができ、共同で情報発信することで、選択肢が広がり、圏域での空き家バンク利用者の増加が期待できます。				（実施スケジュール） 計画	①空き家バンク事業の情報共有 ・圏域内空き家バンク取り組み状況の現状や課題の共有を行う	②ホームページ圏域魅力発信ページ作成 ・発信内容の検討 ・圏域内まちの紹介、観光情報等の素材収集 ・ホームページ作成費予算要求 ※圏域全体のPRとなると広範囲であり、空き家、移住施策を中心として取りまとめる必要がある。	③ホームページ空き家情報の共同掲載 ・物件情報共同掲載に向けての準備（制度設計、課題の抽出等） ※市町村間で制度が異なるため、利用者が混乱しない内容にする必要がある。	・魅力発信ホームページ作成業務委託発注 ・魅力発信ページ作成 ・圏域内各自治体ホームページに魅力発信コーナーを掲載	・圏域内ホームページに魅力発信コーナー掲載																								
事業概要 PLAN	連携市町村が連携し、空き家の利活用についてPRするとともに、双方の空き家バンクに圏域内の空き家情報を掲載します。 【連携事業】 ①空き家バンク事業の情報共有 ②ホームページ圏域魅力発信ページ作成 ③ホームページ空き家情報の共同掲載										実績 (実施内容) DO	特記事項																						
【参考】 第1期課題 (改善点) ACTION	まずは調整会議を行い、市町村の取り組み状況や課題を把握した上で、今後圏域として取り組むべき具体的事項を検討したい。 各市町村担当者間で取次・情報共有できる体制づくりが必要。																																	
事業名	伊賀市	空き家等対策推進事業経費																				評価 CHECK												
	笠置町	移住促進事業																										効果が出ている点						
	南山城村	地方創生加速化交付金事業																																改善すべき点
	山添村	空き家総合対策事業			課題 (改善点) ACTION																													
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度							R7年度	R8年度																						
	伊賀市	38,640	-	-							-	-					★事業の成果目標に対する効果 (5段階評価) A: 効果が出ている B: 効果は出ているが、改善の余地がある C: 効果が出ていない D: 事業実施に向け取組んでいる E: 事業未実施																	
	笠置町	6,300	-	-							-	-																						
	南山城村	3,030	-	-							-	-																						
	山添村	20,779	-	-							-	-																						

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

交流会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野		計画	①公共施設の相互利用 ・第1期で洗い出した対象施設のフォローアップ及び可能性調査 ・調査結果により、具体的検討（相互利用開始時期、利用方法等）を実施。	・必要に応じて、他事業と連携の上、検討を進める。			
政策No.	(5)	政策名	地域内外の住民との交流							
施策No.	③	施策名	公共施設の相互利用							
事業No.	2531	事業名	公共施設の相互利用							
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村						
担当課	総合政策課 各施設担当	総務財政課 各施設担当	総務課 各施設担当	総務課 各施設担当	（実施 P S L A J I N ユ ー ル）	①スポーツ施設の相互利用 ・相互利用による利用料などの協議	・相互利用による利用料などの協議	・相互利用による利用料などの協議	・相互利用による利用料などの協議	
事業の成果目標	連携市町村の施設を相互利用することで、圏域住民の利便性を向上させる。									
事業概要 PLAN	連携市町村の各公共施設について、圏域地域住民が相互に利用し合える体制・システムをつくります。 【連携事業】 ①公共施設の相互利用									
【参考】第1期課題 (改善点) ACTION	【スポーツ施設】 (事業NO.1322再掲) スポーツ施設の相互利用に向け条件等をどのように整理するか検討を要する。また料金設定を行うのであれば、市内料金とするのか、新たに設定するか（構成市町村に無い施設のみとするか）等の線引きが必要。									
特記事項	・他事業と連携のうえ、検討を進める。（事業NO.1321文化・芸術振興、NO.1322スポーツ振興等） ・圏域で保有する公有資産の有効活用を通じて、住み続けられるまちづくりに取り組む。 ・スポーツ施設利用における利便性向上のため、相互に情報共有を行う。 【DX・SDGSの視点】 SNSなどを活用し簡易に広く情報を伝えるとともに、SDGSの認知度向上とスポーツの価値の向上に取り組む									
実績 (実施内容) DO										
母体となる市町村事業					評価 CHECK					
事業名	伊賀市	体育施設管理運営経費			コメント	効果が出ている点				
	笠置町									
	南山城村									
	山添村	体育施設費								
		R4年度	R5年度	R6年度						
事業費 (千円)	伊賀市	153,881	-	-	-	-				
	笠置町	0	-	-	-	-				
	南山城村	0	-	-	-	-				
	山添村	2,000	-	-	-	-				
★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)					課題 (改善点) ACTION					
A:効果が出ている B:効果は出ているが、改善の余地がある C:効果が出ていない D:事業実施に向け取組んでいる E:事業未実施										

第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

交流会					年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
部会名	交流会				計画	(実施 P S L K E A J I N Y U I R L)	①N-1グランプリ ・エントリー団体の募集 ・圏域でのパネル展示 ・交流会の開催				
分野No.	2	分野名	結びつきやネットワークの強化に係る分野								
政策No.	(5)	政策名	地域内外の住民との交流								
施策No.	④	施策名	交流拠点施設の活用などによる地域間交流								
事業No.	2541	事業名	地域間交流								
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村							
	○	○	○	○							
担当課	地域創生課 各施設担当	総務財政課 各施設担当	総務課 各施設担当	地域振興課 各施設担当							
事業の成果目標	構成市町村や事業者、団体等が交流することで、互いの結びつきを強化し、圏域全体の活力を創出する。										
事業概要 PLAN	圏域内の住民活動団体の取り組みを展示・情報発信し、住民間の交流を図ります。 圏域の将来を担う若者世代の交流を進めます。 【連携事業】 ①N-1グランプリ ②若者世代の交流										
【参考】 第1期課題 (改善点) ACTION	広報の連携記事（圏域ニュース）等、さまざまな媒体を活用し、圏域住民に事業を知ってもらえるよう周知を図り、事業の活性化につなげ、圏域住民の交流を促進していく。										
特記事項											
実績 (実施内容) DO											
評価 CHECK											
コメント 改善すべき点											
課題 (改善点) ACTION											

母体となる市町村事業

事業名	事業内容					
	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村		
伊賀市	地方創生推進事業					
笠置町	交流事業					
南山城村	企画推進事業					
山添村	地域づくり事業					
事業費 (千円)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	伊賀市	4,739	-	-	-	-
	笠置町	10	-	-	-	-
	南山城村	65	-	-	-	-
	山添村	1,050	-	-	-	-

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

第2期伊賀・山城南・東大和住自立圏共生ビジョン事業計画・実績表

【連携事業】計画及び実績等

部会名		広報・人材育成部会				年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	
分野No.	3	分野名	圏域マネジメント能力の強化に係る分野			（実施スケジュール） 計画	①人権教育・人権啓発の実践的リーダーの育成 ・人権・同和問題に係る伊賀市の研修に両町村職員が参加し、地域社会における「身近な市民の指導者」として人権教育・人権啓発の実践的リーダーの役割を担える職員を養成する 開催時期：8月～11月					
政策No.	(1)	政策名	人材育成・交流					②職務に役立つ有意義な研修への参加 ・圏域マネジメント能力強化を図るための各種研修の相互利用。 ・担当者研修会の開催のあり方を見直すとともに、必要に応じて実施。				
施策No.	①	施策名	圏域内職員の人材育成									
事業No.	3111	事業名	職員合同研修									
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村								
担当課	人事課ほか	総務財政課	総務財政課	総務課								
事業の成果目標	圏域内職員の資質向上及び政策形成能力及びマネジメント能力等の開発を図るとともに、地域社会における人権教育・人権啓発の実践的リーダーの役割を担える職員を養成する。また、研修の合同開催により、職員間の交流・連携を深める。											
事業概要 PLAN	目的に合致する研修への参加対象を圏域全体の職員に拡大し、職務に役立つ有意義な研修への参加の機会を増やすことにより知識、見識を広め、職務遂行能力を向上させます。また、同和問題をはじめとするあらゆる人権課題の解決に向け、地域社会における「身近な市民の指導者」として人権教育・人権啓発の実践的リーダーの役割を担える職員を育成します。 【連携事業】 ①人権教育・人権啓発の実践的リーダーの育成 ②職務に役立つ有意義な研修への参加											
【参考】第1期課題(改善点) ACTION	昨年度同様対面式の研修ではなかったため、事業の成果目標の1つである、研修の合同開催による職員間の交流・連携を深めることはできなかった。非対面方式での研修が増加するなか、実施すべき研修の内容や実施方法について検討したい。 また、圏域全体での連携意識向上に向けて、圏域で実施する研修会等について、デジタル技術も活用する等し、開催のあり方を検討する。											
特記事項	②研修開催にあたっては、オンライン手法を取り入れ、参加機会の確保に努める。											
実績 (実施内容) DO												
評価 CHECK												
コメント	効果が出ている点											
	改善すべき点											
課題 (改善点) ACTION												

母体となる市町村事業

事業名	職員研修事業、人権・同和研修事業					
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
伊賀市	3,311	—	—	—	—	
笠置町	600	—	—	—	—	
南山城村	361	—	—	—	—	
山添村	700	—	—	—	—	

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ている
- D: 事業実施に向け取組んでいる
- E: 事業未実施

部会名	広報・人材育成部会			
分野No.	3	分野名	圏域マネジメント能力の強化に係る分野	
政策No.	(2)	政策名	外部からの人材確保	
施策No.	①	施策名	専門的な知識経験を有する人材の確保	
事業No.	3211	事業名	外部からの人材招聘	
連携市町村	伊賀市	笠置町	南山城村	山添村
	○	○	○	○
担当課	総合政策課 人事課	総務財政課	総務財政課	総務課
事業の成果目標	圏域共通の政策課題について、より効果的に広域的な施策展開を図り、圏域内の連携を深めあうことを目指します。			
事業概要 PLAN	専門知識を有する人材の情報を集め、マネジメント技術等を習得します。また共通の政策課題の検討や職員の意識共有を含めた仕組みづくりを検討し実施につなげます。			
【参考】 第1期 課題 (改善点) ACTION	—			

母体となる市町村事業

事業名	伊賀市	—	—	—	—	—
	笠置町	—	—	—	—	—
	南山城村	—	—	—	—	—
	山添村	—	—	—	—	—
事業費 (千円)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	伊賀市	0	—	—	—	—
	笠置町	0	—	—	—	—
	南山城村	0	—	—	—	—
	山添村	0	—	—	—	—

★事業の成果目標に対する効果(5段階評価)

- A: 効果が出ている
- B: 効果は出ているが、改善の余地がある
- C: 効果が出ていない
- D: 事業実施に向け取り組んでいる
- E: 事業未実施

年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度
計画 (実施スケジュール)	当事業は、必要に応じ取り組みを実施する。				
	・当事業については、各施策分野における連携事業の実施にあたり専門的知識等を要する場合、各部会からの依頼に基づき人材育成部会と調整のうえ、外部人材の招聘を検討する。 ・住み良い圏域をめざし、圏域共通の政策課題解決に取り組む。				
実績 (実施内容) DO					
評価 CHECK					
コメント	効果が出ている点				
	改善すべき点				
課題 (改善点) ACTION					